



# 福井市下水道事業経営戦略フォローアップ（令和7年度）

令和8年10月 福井市上下水道局



経営戦略（計画期間：平成29～令和7年度※）に掲げた事業計画と経営基盤強化の取組について、令和7年度末時点における進捗状況を検証しました。

※「福井市下水道事業経営戦略2026」（R8～17年）の策定により1年短縮

## 1 事業計画の進捗状況

### 【普及拡大事業】

未普及地区解消に向けた公共下水道の整備※

- ・整備延長：約4.0km
- ・人口普及率：99.8%（昨年度から0.3ポイント増）

※令和6年度をもって概成

### 【改築事業】

ストックマネジメント計画に基づく、管渠・施設の老朽化対策

#### ○管渠

- ・管更生延長：約2.6km
- ・改築延長：約0.7km

#### ○施設

- ・日野川浄化センター自家発電設備更新事業 等

### 【耐震化事業】

耐震化の推進

- ・管路施設耐震詳細設計（重要な幹線等）
- ・耐震診断調査業務（日野川浄化センター水処理棟）

### 【大規模改築事業】

- ・足羽ポンプ場更新事業（～R10）  
ポンプ場建屋、流入幹線の建設に向けた土木工事
- ・足羽雨水増補幹線の整備（～R9）



<工事の状況（ポンプ場建屋）>



<工事の状況（足羽雨水増補幹線）>

### 【雨水対策事業】

#### ○耐水化事業

処理場、ポンプ場の耐水化工事

- ・清水東部浄化センター
- ・乾徳ポンプ場
- ・上里ポンプ場

#### ○浸水対策事業

- ・大宮2丁目調整池詳細設計
- ・雨水増補管整備

## 2 経営基盤強化の取組

### 【事業の効率化】

#### ○不明水対策

- ・管更生延長：約 1.1km

#### ○消化ガス発電

- ・令和7年度発電量：約 226 万 kW
- ・二酸化炭素削減量：約 974t



<消化ガス発電設備>

### 【収入の確保】

- ・過年度使用料収納率 99.9%
- ・交付金・補助金の要望活動

### 【下水道事業の見える化】

#### ○上下水道展の開催

(来場者数：1,012 人)



#### ○上下水道のミカタの発行

(年3回 全戸配布)



### 【組織の活性化・人材育成】

#### ○研修 10 回

(危機管理、企業会計、事業計画、排水ポンプ車操作等)

#### ○訓練：BCP 訓練（地震・風水害）



<BCP 訓練（風水害）>



<研修（企業会計）>

#### ○福井デザインマンホールフォトラリーの実施



<フォトラリー景品>



アクリルコースター



トートバッグ

#### ○マンホールカードの配布



不死鳥デザイン  
(4,015 枚配布)

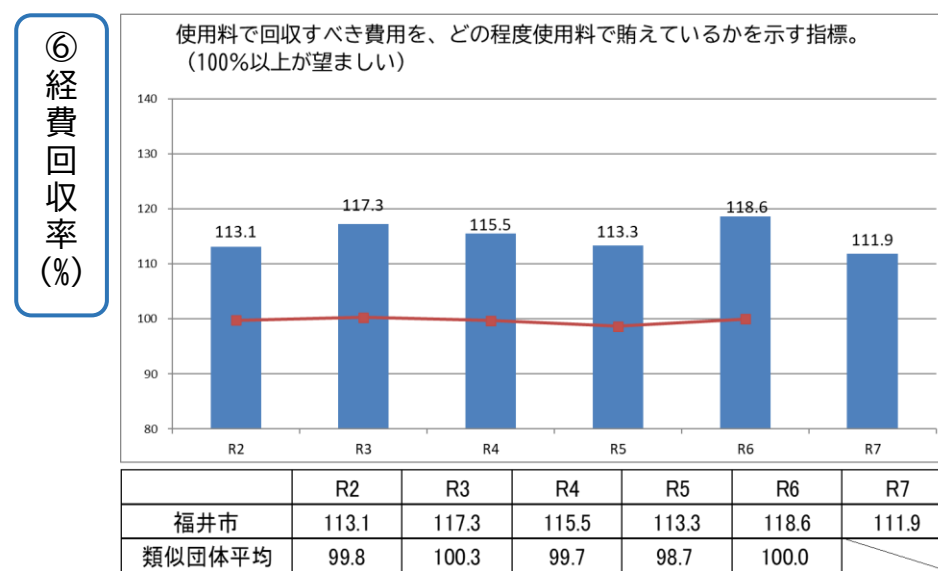
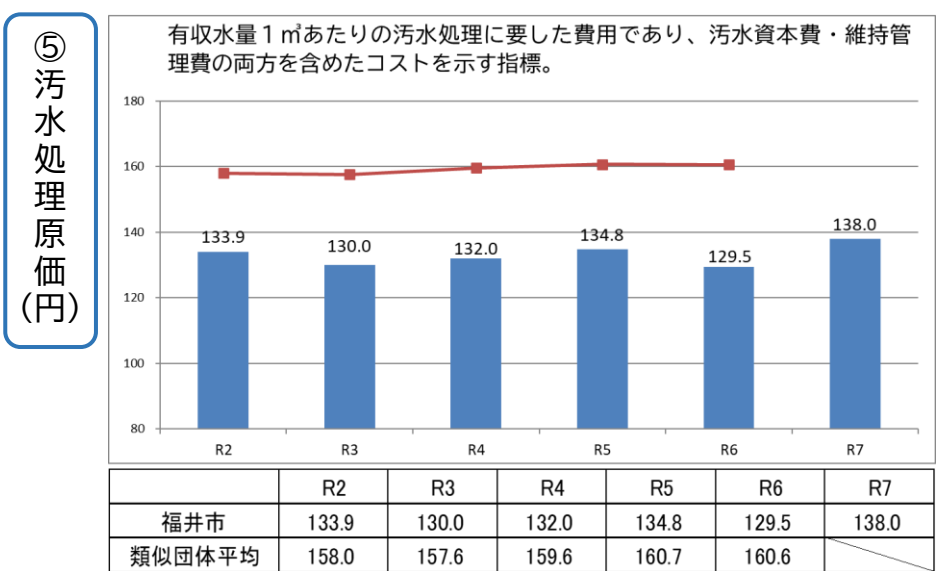
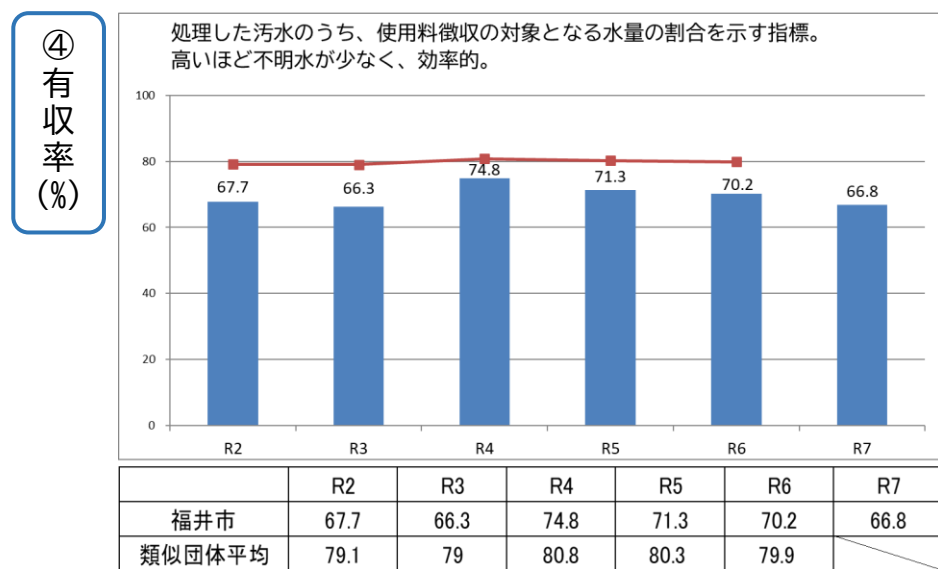
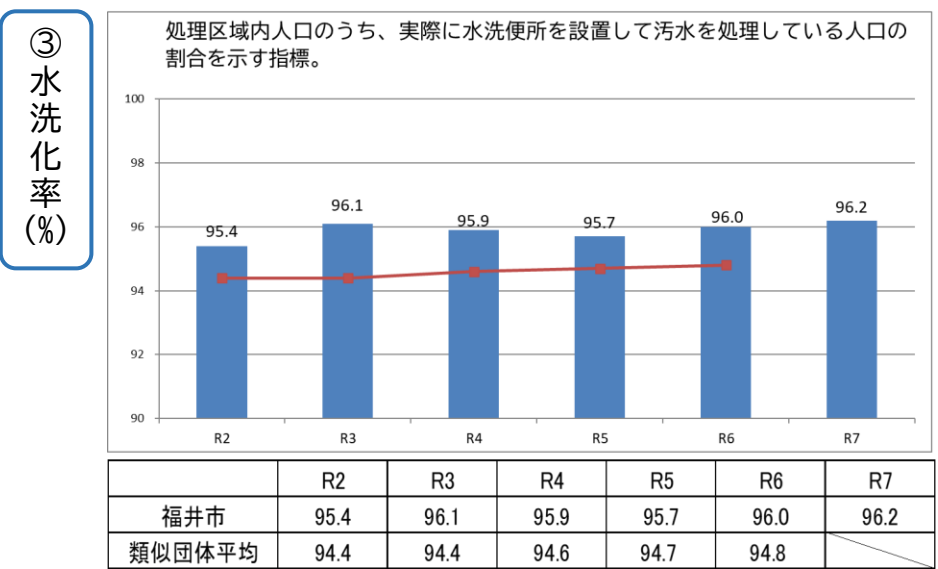
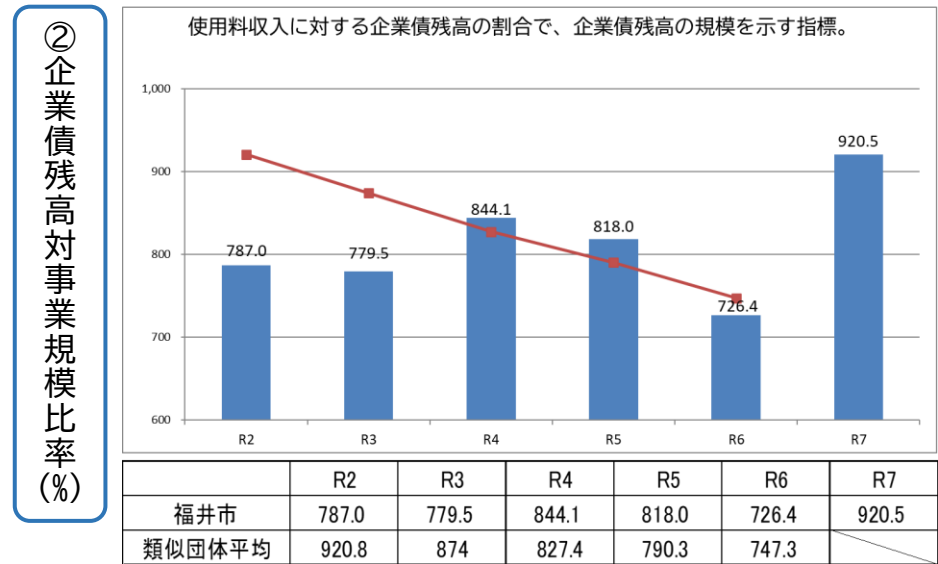
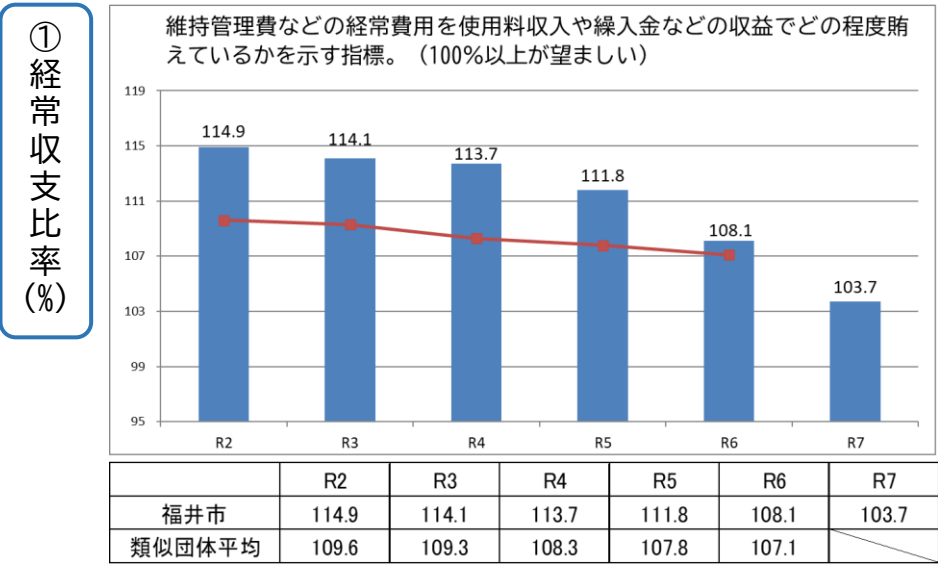
一乗谷朝倉氏遺跡  
デザイン  
(5,111 枚配布)



「落ちない・スベらない・サクラ咲く」  
合格まんぼ〜る  
(800 体配布)

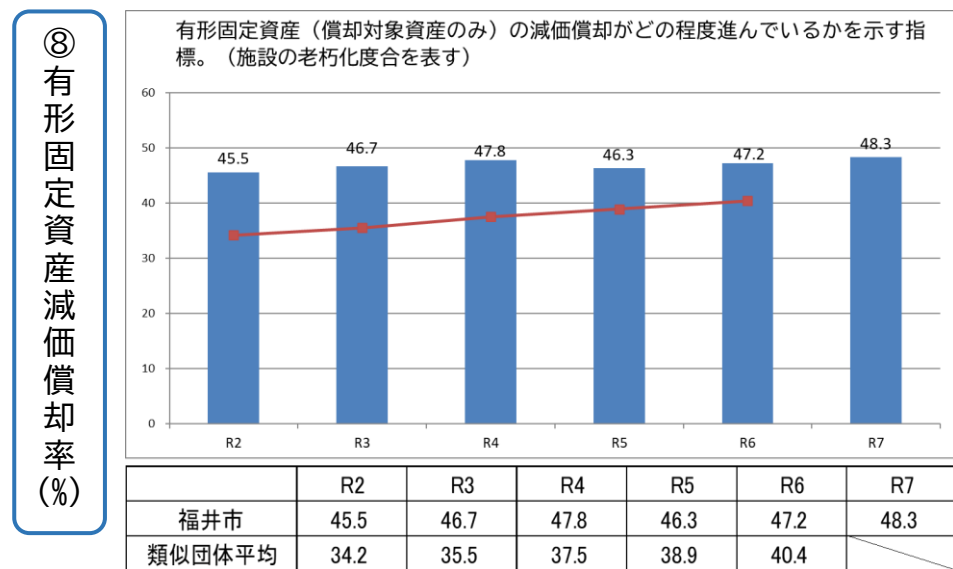
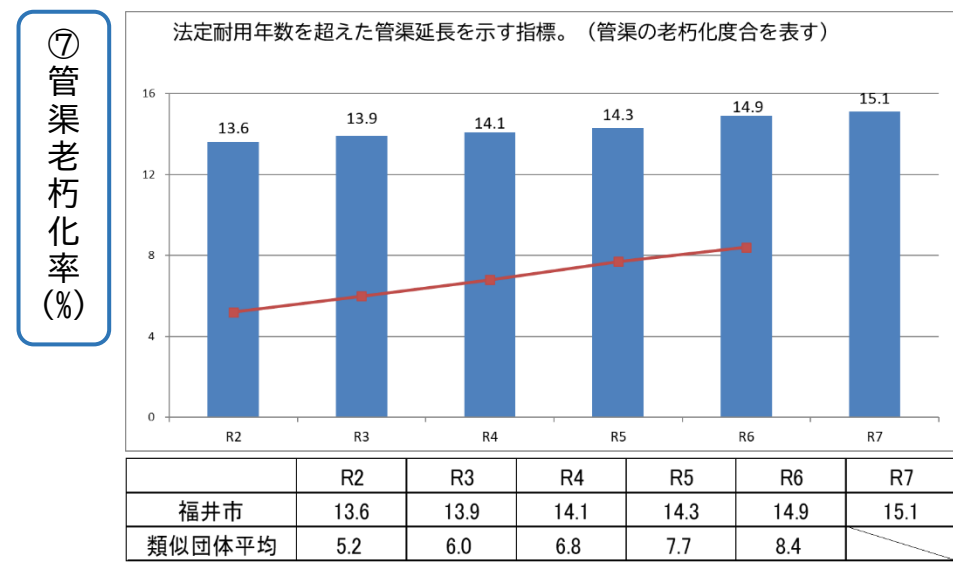
### 3 経営指標

#### 【経営の健全性・効率性】



※数値は全て公共下水道のもの  
※類似団体区分：処理区域内人口 10万人以上（政令市除く）  
区域内人口密度 50人/ha未満

#### 【老朽化の状況】



#### 【指標の分析】

- ・「①経常収支比率」、「⑥経費回収率」については100%以上を維持していますが、近年は低下傾向にあります。
- ・「⑦管渠老朽化率」、「⑧有形固定資産減価償却率」は類似団体平均を上回っており、他自治体と比べ、老朽化が進んでいる状況にあります。

## 【決算状況】

※金額は百万円単位で四捨五入 ( ) 内の数値は対前年度増減率

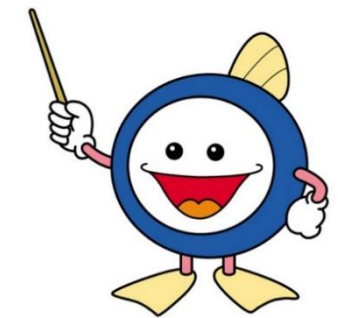
収益的収支：収益面では、他会計負担金等の減少により、営業収益は 65 億 9,000 万円（△3.8%）となりました。また、長期前受金の減少等により、営業外収益は 26 億 5,500 万円（△2.0%）、特別利益は 200 万円（△22.8%）となり、これらを合わせた総収益は 92 億 4,700 万円（△3.3%）となりました。

費用面では、負担金等の増加により、営業費用は 81 億 200 万円（+0.4%）となりました。また、営業外費用は企業債利息の増加等により 8 億 6,500 万円（+4.3%）となり、これらを合わせた総費用は 89 億 6,800 万円（+0.7%）となりました。  
この結果、当期純利益は 2 億 8,000 万円（△57.5%）となりました。

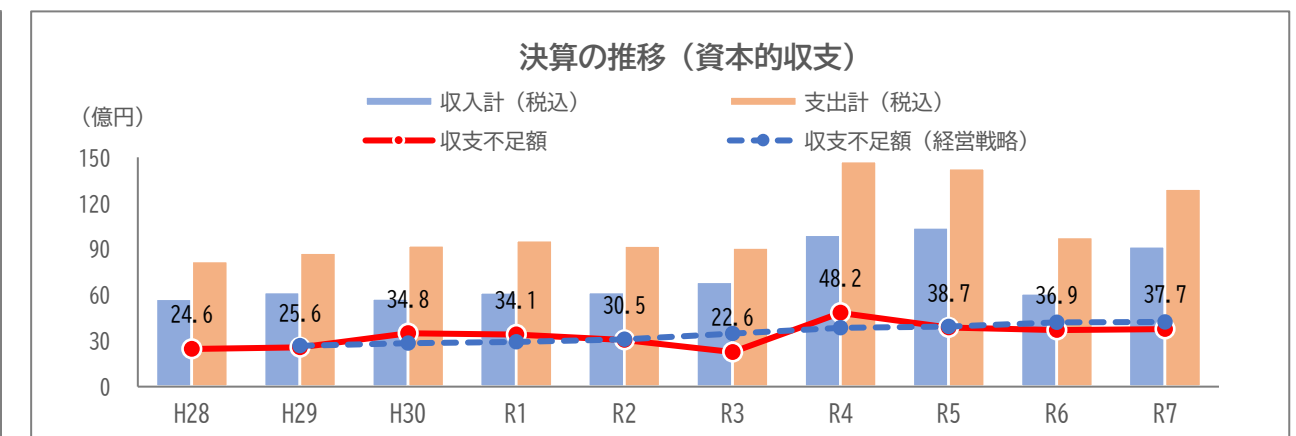
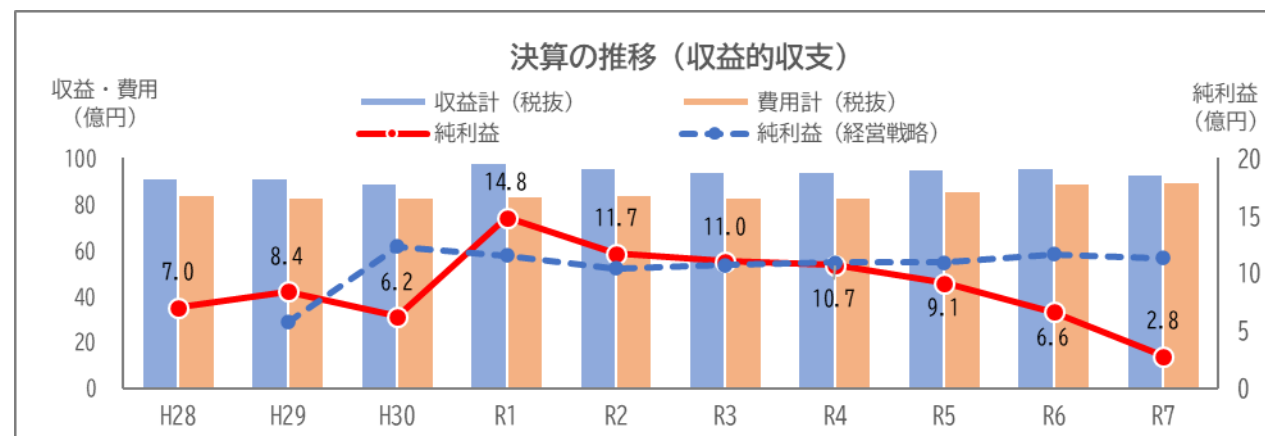
資本的収支：収入面は、企業債や補助金等の増加により、91 億 8,400 万円（+50.6%）となりました。

支出面では、建設改良費等の増加により、資本的支出額は 129 億 5,600 万円（+32.3%）となりました。

この結果、資本的収支は 37 億 7,200 万円の不足となり、留保資金や収益的収支で生じた利益等で補填しています。



&lt;下水道マスコットキャラクター「スイスイ」&gt;



## 【経営戦略との比較】

- ・収益的収支は、維持管理費や企業債利息の増加等により、純利益が経営戦略の見込値よりも下振れする結果となりました。
- ・資本的収支は、大規模な施設更新工事の影響により、収入・支出ともに経営戦略で見込んでいた数値を上回りました。また、企業債収入の増加により、資本的収支の不足額は、経営戦略の見込値を下回っています。

【単位：億円】

|        | 収益的収支 |      |      | 資本的収支 |       |      |
|--------|-------|------|------|-------|-------|------|
|        | 収益    | 費用   | 純利益  | 収入    | 支出    | 不足額  |
| 経営戦略   | 92.4  | 81.2 | 11.2 | 70.7  | 113.0 | 42.3 |
| R 7 決算 | 92.4  | 89.6 | 2.8  | 91.8  | 129.5 | 37.7 |